

荒川工科高等学校連携イベント開催

荒川区青少年育成地区委員会連絡協議会

都立荒川工科高等学校(定時制課程)のご協力のもと、令和7年12月に「電子ちょうちん製作」、令和8年1月に「キャンドルクラフト」体験を開催しました。どちらも区内の小学3年生から6年生までの児童およそ40名が参加しました。このイベントは今年度で5回目となります。今回も生徒の皆さんと先生方が子どもたちを温かく迎え、体験がスタートしました。

生徒の皆さんは、子どもたち一人ひとりに声をかけ、注意点やコツを優しく丁寧に教えてくれました。サポートを受けた子どもたちは難しい工程も最後まで諦めず、素敵な作品を完成させることが出来ました。

はじめは緊張した様子の子も、最後には生徒の皆さんと笑顔で話したり、参加者同士で完成した作品を見せあったりするなど、楽しそうな様子が見られました。また、校内には生徒の皆さんが製作した遊具も設置され、子どもたちに大人気でした。

今回、参加した子どもたちからは、「わかりやすく教えてくれて楽しかった」「普段体験できないことができて嬉しかった」「また参加したい」との声いただきました。ものづくりの楽しさや荒川工科高等学校の魅力を感じてもらえたと思います。

今後も、子どもたちに学びや体験の機会が提供できるよう、楽しいイベントを企画してまいります。



制作時の様子



電子ちょうちん・キャンドル



生徒製作の遊具で遊ぶ様子

「あらかわの心」ニュース



「あらかわの心」推進運動シンボルマーク

今号では、第17回「あらかわの心」カルタ大会の様子や参加団体の活動報告についてお届けします。



あら坊 あらみい

第40号

令和8年
3月2日発行

「あらかわの心」推進運動とは？

荒川区には、郷土と地域を愛し、人を思いやる温かくやさしい心が受け継がれてきました。

この「あらかわの心」を次代を担う子どもたちに受け継いでいくため、「あらかわの心」推進運動では、

- まず大人が行動する
- 大人と子どもが一緒に行動する
- 地域ぐるみで子どもを見守り育てる

という3つの視点に基づき、

- 笑顔であいさつをしよう
- きまりを守ろう
- 思いやりをもとう
- いろいろな体験をしよう
- 見守り、声をかけよう

という心をつなぐ5つの取り組みを実践することで、大人も子どもも互いに尊重し、共に生きる地域社会の実現を目指します。

アンケート

アンケートにお答えください。抽選で30名の方に「あらかわの心」オリジナルサコッシュをプレゼント致します。郵送が電子申請によりご応募ください。

●郵送の場合

はがきに、1. 住所 2. 氏名 3. 電話番号 4. アンケート①②③④ をご記入の上、本ページ左下宛先を切り取り、はがき宛先面に貼り付け、お送りください。

●電子申請の場合

こちらのQRコードを読み込み、応募画面にお進みください。



●締め切り

令和8年6月12日(金)。当選者の発表はプレゼントの発送をもってかえさせていただきます。

なお、いただいたご意見等は、ニュース等の広報誌でご紹介させていただくことがありますので、ご了承ください。



オリジナルサコッシュ(ネイビー)

「あらかわの心」カルタの販売について

このカルタは、あいさつ・きまり・思いやり・体験・見守りの心をつなぐ5つの取り組みを表現しており、大人も子どもも楽しみながら、「あらかわの心」について一緒に考えていただけるカルタです。カルタは荒川区役所2階の児童青少年課窓口で販売しています。(一組500円)



第17回「あらかわの心」カルタ大会

令和8年2月7日(土)、生涯学習センターで第17回「あらかわの心」カルタ大会が行われました。この大会は、「荒川は笑顔とあいさつにあう町」から始まる読み札でおなじみのカルタを使い、楽しみながら「あらかわの心」に親しんでもらおうと開かれているものです。

当日は小学1～3年生の41名が参加。「札が読まれるまでは手を膝に置く」などのルールをしっかり守りながら、読み手の声を合図に、元気よく札を取り合いました。

真剣勝負の中にも笑顔があふれ、子どもたちは「あらかわの心」に触れ、ルールを守る大切さを肌で感じている様子でした。参加した子どもたちからは「また来年もやりたい」「家でもやってみよう」といったうれしい声も。

これからもカルタを通して、温かい「あらかわの心」の輪が地域に広がっていくよう、活動を続けていきます。



対戦相手を変えながら4試合行いました



授賞式の様子

第40号 令和8年3月2日発行

発行 「あらかわの心」推進運動区民委員会事務局
〒116-8501 荒川区荒川2-2-3
(荒川区子ども家庭部児童青少年課内)

TEL.03-3802-3814 FAX.03-3802-3174

<Eメール> arakoko@city.arakawa.lg.jp

<ホームページ・寸劇動画>

下記QRコードから、ホームページと「あらかわの心」PR寸劇をご覧ください。

「あらかわの心」推進運動ホームページ



「あらかわの心」PR寸劇(YouTube)



こどもまつりでカルタ会を開催しました

尾久・日暮里・荒川地区のこどもまつりで、「あらかわの心」カルタ会を開催しました。当日は、子どもから大人まで、世代を超えて一緒にカルタを楽しむ、温かい異年齢交流が生まれました。

何度も挑戦する子や友達と声を掛け合って参加する子もいたり、どの地区也大盛況でした。

今回のカルタ会を通じて多くの方に「あらかわの心」を身近に感じていただくきっかけになったのではないかと感じています。

また、このカルタ会で、進行役や読み手を手伝ってくれたのは、地域の中学生ボランティアの皆さんです。丁寧な進行と、会場を盛り上げる読み上げのおかげで、参加者全員が笑顔になる時間となりました。

今回のボランティアを通して感じたことについて、ご意見をいただきました。

- ・子どもたちが楽しくやっている姿を見るとこっちも楽しかった。
- ・笑顔に溢れている子が居るととても貴重な時間となった。
- ・自分より小さい子とたくさんカルタができて楽しかった。



カルタ会の様子

明るいあいさつが飛び交う学校に

尾久西小学校 校長 大野 良子

令和7年4月に尾久西小学校の代表委員会では、子どもたちの発案で「もっと尾久西小学校をよくするために？」という話し合いをしていました。

今、一番頑張っていきたいことは「明るいあいさつが飛び交う学校にしたい」ということでした。早速、5月の全校朝会で呼びかけ、翌日の登校時には、代表委員会が門に立って「あいさつ運動」を実施しました。

「あらかわの心」推進運動区民委員会からいただいた「のぼり旗」を持ち、「たすき」をして、元気いっぱい明るく「おはようございます」と声をかけていました。

「あいさつ運動」は、その後も毎学期、学級ごとに続けています。先日、地域の方からも「尾久西小学校の子どもたちはよくあいさつをしてくれますよ。」との嬉しいお言葉をいただきました。

これからも、子どもたちと共に、尾久西小学校に関わる全ての人が笑顔で過ごせる学校づくりを進めて参ります。



あいさつ運動の様子

地元の街全体がフィールド！親子で楽しめる「ロゲイニング大会」

荒川区青少年委員連絡会南千住ブロック長 小寺 政央

令和7年11月23日（日・祝）、荒川区青少年委員連絡会南千住ブロックは、第三瑞光小学校にて「南千住地区ロゲイニング大会」を開催しました。南千住の名所や公共施設に設定したチェックポイントを時間内にどれだけ回り、ポイントを獲得出来るかという親子競技です。

各学校、PTA会長、地域の皆様から温かいご協力をいただき、定員を超える約50組の親子が参加してくださいました。

私は「隠しポイント」になり公園に潜んでいましたが、見つけた時に満面の笑みで喜ぶ親子の様子をみて“大切な思い出の1ページ”になれたかなあとしみじみ嬉しく思いました。

そして閉会式を迎え、いたるところで親子同士の交流を持つ様子を見ることができ、また「楽しかった！」「来年も参加したい！」と沢山の皆さんに言ってもらえて心から嬉しい気持ちになりました。

これからも地域を愛する温かい心を育むことができるようなイベントにしていきたいと思っております。



ロゲイニング大会

保護司会の新たな活動紹介

荒川区保護司会 上原 憲太郎

荒川区保護司会では、保護司の担い手を広げる取り組みの一環として、令和7年度に区内で開催された三つの大きなイベントにブースを出展しました。

参加したのは、「川の手荒川まつり」「尾久っ子ワクワクまつり」「にっぽり青空こどもまつり」です。

当日はどのイベントも天候に恵まれ、会場は多くの来場者でにぎわいました。ブースでは、保護司の活動について紹介しながら、地域の皆さまと直接お話しする機会を持つことができました。立ち寄ってくださった方々からは、保護司の役割について関心を寄せていただく声も多く聞かれました。

荒川区保護司会では、今後も地域のイベントなどを通じて、保護司の活動を身近に感じていただけるよう、引き続き取り組んでまいります。



ブース出展（川の手荒川まつり）

荒川区民ミュージカル あらかわ宝物さがし物語PART3

～魅力発信あらかわワンダーランド～

「あらかわの心」推進運動区民委員会幹事 室伏 京子

令和7年12月14日（日）、サンパール荒川大ホールにて、第3弾となる荒川区民ミュージカルが盛大に上演されました。

折しも昭和100年にあたる年に、オーディションで選ばれた6歳から80代までの区民や、宮城県石巻地区からの友情出演の方々など総勢100名超が出演。「あらかわの心」推進運動区民委員会幹事会のメンバーもキャストとして6名が参加し、5月から半年間に及ぶ稽古を共に重ねてきました。

世代や立場を超えて一つのチームとなり、生バンドの演奏に乗せて歌い踊る姿は、まさに人と人との温かいつながりそのもの。舞台を通じて結ばれた固い絆に、ここでも確かな「あらかわの心」が感じられました。「荒川の宝物は子どもたちだ」という熱いメッセージに、会場を訪れた多くの観客からは感動の涙と惜しみない拍手が送られました。



キャストの皆様

“伝統工芸inにっぽり”を開催して

荒川区青少年育成日暮里地区委員会

11月29日（土）荒川区青少年育成日暮里地区委員会では“伝統工芸inにっぽり”を開催し、江戸指物伝統工芸士の根本一徳様をお招きして、箸の作り方をご指導頂きました。

子どもたちには「夕食は自分で作った箸で食べましょう」と伝えながら、素敵な箸を作っている様子を見守りました。

箸づくりの他にも、缶バッジに思い思いの絵を描いたり、あら坊などのシールを貼る等、各々素敵な缶バッジを作っていました。

また、電子オルゴールづくりでは、細かい部品を差し、メロディー♪が流れた時は、作る喜びを感じたのではないかと思います。

来年もまた伝統工芸など、ものづくりの楽しさを体験できる企画を考えたいです。



作成した箸

令和8年新春タコあげ大会

荒川区青少年育成南千住地区委員会 環境対策部長 板井 亮師

毎年、年明け二週目の日曜日に、日本のお正月遊びである、凧作りと凧揚げを子どもたちに体験して楽しんでもらえるように「新春タコあげ大会」を開催しています。

今年も児童や保護者、校長先生など総勢250名ほどの参加者で大変盛大に開催することができました。

当日は絶好の凧揚げ日和を予感させられる季候の中、滝口荒川区長にもご挨拶いただき開会しました。

凧作りでは、しっぽの貼り方や一人ひとりの個性が絵柄に表れ、十人十色の凧が完成しました。中学生ボランティアの生徒たちも作り方のサポートをしていて、とても微笑ましかったです。

グラウンドで行った凧揚げは格別な思い出となった事だと思います。こうした行事での体験をこれからも大切に記憶に留めてもらえれば嬉しい限りです。



凧揚げの様子